

「さいたま市地域公共交通計画（素案）」に対する意見募集結果

意見番号	ご意見の概要	該当するページ/条項	件数	ご意見に対する市の考え方	修正等の対応
1	武浦01系統が載っていないのではないか バス運行本数に現状と大きな乖離があり、問題であると思う。 また、凡例の表示は時刻表示と読み取れるため「10-15時台」「7-9時台」等の表記に変更すべきではないか	38	1	本計画ではバスサービスの現状として運行本数別路線図を掲載しており、最新のデータにわかりやすく更新すべきと考えます。 そのためバス運行本数図のデータを現時点版に見直し、凡例表記を修正いたします。	ご意見を踏まえ、表記を修正いたします
2	公共交通空白地区等の解消、公共交通等による人口カバー率の上昇を目指すのであれば、地域からの要望を待つのではなく、市主導で積極的に働きかけていくべきであり、コミュニティバス等導入ガイドラインの改定時に反映いただきたい	80	1	学識経験者や鉄道、バス事業者、公募による市民の方々等で委員が構成されているさいたま市地域公共交通協議会において、「コミュニティバス等導入ガイドライン」の改定作業を進めているところです 市民、市、事業者の役割分担や検討主体につきましても、改定作業の中で検討してまいります。	素案のとおりといたします
3	低炭素社会及び持続可能な社会の実現に向けて、公共交通の車両等については電気自動車等に切り換えることが必要である	-	1	SDGsの推進等、持続可能な社会の実現は本計画においても重要な視点と位置付けております ご意見を参考に計画策定後、検討してまいります。	素案のとおりといたします
4	コミュニティバス等の利用者、公的資金の投入額のグラフ凡例「コミバス乗客車数」の誤字を修正する	概要版3	1	利用者、乗客等の表現は本計画書内での整合が必要と考えます。 表記を修正いたします。	ご意見を踏まえ、表記を修正いたします
5	公共交通等による人口カバー率は現況値が91.7%で目標値が95%であるため、+3%の表記を+3.3%と修正する	80	1	数値の桁表現は本計画書内で整合の取れた表現が適切であると考えます。 ご意見を参考に、目標値の表記は小数点第一位までの表記で統一し、表記を修正いたします。	ご意見を踏まえ、表記を修正いたします
6	概要版の目標：公共交通の維持・確保の記載の内、「環境負荷、交通混雑・事故の解消等」は環境負荷の「低減」、交通混雑・事故の解消等とすべきではないか	概要版9	1	本計画書の記載は市民にわかりやすく、誤解のない表現とする必要があると考えます。 ご意見を参考に、環境負荷の「低減」に修正いたします。	ご意見を踏まえ、表記を修正いたします
7	概要版の偶数ページにページ番号を追加すべき	概要版全編	1	概要版の偶数ページ番号については、右下に統一して記載します。	ご意見を踏まえ、表記を修正いたします
8	さいたま市の総人口は2030年をピークに減少、高齢化率は現在以降増加する見込みであり、計画期間以降の展望が示されなければ、対応が手遅れになる可能性があるため、成果指標に2045年の人口状況を踏まえた概算数値を示せないか	80	1	施策の推進に当たっては、施策進捗の評価、達成状況をモニタリングし、中間見直し時に対応を検討することが必要と考えます。 ご意見を参考に計画策定後、検討してまいります。	素案のとおりといたします
9	コミュニティバスや乗合タクシーの収支率を向上させるためには利用頻度を上げるなど、沿線市民の利用を促す対策が求められるが、声を聞いた経路・頻度・時間なのでしょうか ガイドラインの改定を計画されており、その中で議論されると考えております	全編	1	「コミュニティバス等導入ガイドライン」の策定以降に導入されたコミュニティバス等につきましては地域の方々为主体的に取り組み運行計画を作成しております。 また、学識経験者や鉄道、バス事業者、公募による市民の方々等で委員が構成されているさいたま市地域公共交通協議会において、「コミュニティバス等導入ガイドライン」の改定作業を進めているところです。 経路・頻度・時間などのサービス方針の妥当性につきましても、改定作業の中で検討してまいります。	素案のとおりといたします

「さいたま市地域公共交通計画（素案）」に対する意見募集結果

意見番号	ご意見の概要	該当するページ/条項	件数	ご意見に対する市の考え方	修正等の対応
10	東西交通と地下鉄7号線延伸計画が、素案では同列に扱われているが、個々の進捗の想定が異なるため、切離した記載をしないと同等に計画が進むものとの誤解を与えるのではないか	67	1	地域公共交通計画の施策体系は、個別の事業計画ではなく、新たな公共交通・ルートの導入検討の大きな施策方針として示すものと考えます。	素案のとおりといたします
11	成果指標の公共交通等の利用者数、満足度は、コロナ以降の生活の変化・定着や将来の人口減少を鑑み、将来的には見直しの必要があるのではないか	80	1	新型コロナウイルス感染症拡大や新たな生活様式については、終息後の推移を見極めた上で、市民の移動、公共交通へのニーズを的確に把握していく必要があると考えます。ご意見を参考に、今後計画の見直し、施策等のモニタリングの中で成果指標についても適宜見直し、検討いたします。	素案のとおりといたします
12	「東日本の広域交通拠点のイメージ」の道路部分を現況に合わせて修正すべき	35	1	東日本の交通の結節点のイメージとして「さいたま市総合都市交通体系マスタープラン(H29)」を使用しておりますが、公共交通に関する現状をイメージできるように、更新する必要があると考えます。ご意見を参考に、最新の現況図に修正いたします。	ご意見を踏まえ、表記を修正いたします
13	さいたま市総合振興計画においても、「さいたま市バリアフリー基本構想に基づき、事業者等と連携し、市内のバリアフリー化を目指します」と記載されていることから、さいたま市バリアフリー基本構想は上位計画と同等の方針として位置付けるべきではないか	2	1	本市総合振興計画において、本計画及びさいたま市バリアフリー基本構想は、ともに都市インフラに係る実施計画事業に位置付けられており、連携して事業推進を図るものと考えております。	素案のとおりといたします
14	高齢者と障害者に対するバリアフリーは重なるものもあるが全く別のものと考えべき	-	1	本計画において、「市民」とは高齢者、障害者等を含むすべての市民のことであり、高齢者、障害者を特別に記述しておりません。ご意見を参考に計画策定後、検討してまいります。	素案のとおりといたします
15	「市民」に高齢者や障害者を含むことを本計画書の中で明示すべき	1	1	本計画において、「市民」とは高齢者、障害者等を含むすべての市民のことであり、高齢者、障害者を特別に記述はしておりませんが、ご意見を踏まえ、より分かりやすくするため表現を見直します。	ご意見を踏まえ、表記を修正いたします
16	現状から見た問題点の「高齢者等」の外出機会の減少は、「等」が何を指すものなのか読み取れない。「等」を削除する、もしくは「高齢者や〇〇等」と具体的に記載すべき	21	1	人口動態に関連する統計データ等においては、障害者とその他を分けて問題点を把握することはできないため、人口動態に関連する統計データ等による現状から、問題点を整理しています。そのため、誤解のない表現とする必要があると考えます。	ご意見を踏まえ、表記を修正いたします
17	現状から見た問題点には、高齢者だけでなく、移動手段が限られる障害者についても記載すべき	21	1	人口動態に関連する統計データ等においては、障害者とその他を分けて問題点を把握することはできないため、人口動態に関連する統計データ等による現状から、問題点を整理しています。そのため、誤解のない表現とする必要があると考えます。	ご意見を踏まえ、表記を修正いたします
18	現状から見た問題点の「高齢者等」の外出機会の減少は、「等」が何を指すものなのか読み取れない。「等」を削除する、もしくは「高齢者や〇〇等」と具体的に記載すべき	48	1	公共交通サービスへの需要に関連する統計データ等においては、障害者とその他を分けて問題点を把握することはできないため、公共交通サービスへの需要に関連する統計データ等による現状から、問題点を整理しています。そのため、誤解のない表現とする必要があると考えます。	ご意見を踏まえ、表記を修正いたします

「さいたま市地域公共交通計画（素案）」に対する意見募集結果

意見番号	ご意見の概要	該当するページ/条項	件数	ご意見に対する市の考え方	修正等の対応
19	②公共交通相互の連携を強化する交通結節機能の向上についてのくらしのイメージに、高齢者、子供連れだけではなく、障害者についても記載すべき	53	1	「高齢者や子ども連れ等」には、障害者を含むものと考えております。ご意見を踏まえ、より分かりやすくするため表現を見直します。	ご意見を踏まえ、表記を修正いたします
20	②公共交通相互の連携を強化する交通結節機能の向上についての説明文に、高齢者、子供連れだけではなく、障害者についても記載すべき	53	1	「高齢者や子ども連れ等」には、障害者を含むものと考えております。ご意見を踏まえ、より分かりやすくするため表現を見直します。	ご意見を踏まえ、表記を修正いたします
21	施策の説明文中の「高齢者サービスや福祉施策などと連携を図り」に高齢者サービスだけでなく障害者サービスも追記すべき	65	1	「高齢者サービスや福祉施策など」には、障害者サービスを含むものと考えております。ご意見を踏まえ、より分かりやすくするため表現を見直します。	ご意見を踏まえ、表記を修正いたします
22	施策の説明文中の「地域に不慣れな観光訪問者や障害者等に対して移動を支援」の障害者等を高齢者、障害者に記載変更すべき	72	1	「障害者等」には、高齢者を含むものと考えております。ご意見を踏まえ、より分かりやすくするため表現を見直します。	ご意見を踏まえ、表記を修正いたします
23	説明文中の「通勤・通学者、高齢者等、公共交通の主要な利用主体」に、障害者を追記すべき	91	1	「高齢者等」には、障害者を含むものと考えております。ご意見を踏まえ、より分かりやすくするため表現を見直します。	ご意見を踏まえ、表記を修正いたします
24	障害者や高齢者は、健常者のように歩くことができないため、公共交通機関が整備されても、外出することができないのを控えてしまう 障害者用駐車スペースを確保していただきたい ゆくゆくはパーキングパーミット制度導入の検討など追記でもかまわないが、「市内のバリアフリーの推進」の一環として取り組んでいただきたい	-	1	高齢者、障害者等を含むすべての市民が外出しやすくなるためには、バリアフリーの推進が必要と考えております。ご意見を参考に計画策定後、検討してまいります。	素案のとおりといたします
25	⑨鉄道・バスの乗り換え円滑化には、駅のバリアフリー計画が記載されており、このページに「上り」「下り」でワンセットのエスカレーターの整備を記載いただきたい。	69	1	高齢者、障害者等を含むすべての市民が外出しやすくなるためには、バリアフリーの推進が必要と考えております。ご意見を参考に計画策定後、検討してまいります。	素案のとおりといたします
26	対象とする交通手段は示されているが、公共交通そのものの用語の定義が見当たらない。さいたま市には公共交通がないので誤解する人は少ないと思うが、用語の定義は記載すべき。 例えば①バス路線の再編検討の対象はコミュニティバスを指しているのであれば、明記されていなければ、民間路線バスへの介入との誤解を招くのではないか	17	1	本計画の中では、対象とする各交通手段が公共交通体系の中でどのような役割を持つかで定義することが必要と考えており、4-3目指す公共交通ネットワークの中で各交通手段の役割として整理し、示しています。 バス路線の再編の施策については民間バス路線も含まれ官民連携して施策を検討してまいります。	ご意見を踏まえ、表記を修正いたします
27	大宮駅周辺地区と副都心である浦和美園地区アクセスの利便性向上が期待される、「新たな交通システム導入」について、現状の路線バスのサービス向上を第一義に検討すべきではないか	67	1	現状の路線バスのサービス向上は、バス路線の再編等の施策の中で、当該路線についても検討の対象となると考えます。ご意見を参考に、新たな交通システムの導入についても、バス路線の再編と併せて検討を進めるものといたします。	素案のとおりといたします
28	東武野田線-JR京浜東北線直通構想についても、計画に記載すべきではないか	-	1	東武野田線とJR京浜東北線の相互乗り入れについて本市より鉄道事業者に対して要望を行っているところです。 なお、本計画は、全ての事業を網羅することを策定目的とはしていないため、代表的な事例等施策のみを掲載いたします。	素案のとおりといたします

「さいたま市地域公共交通計画（素案）」に対する意見募集結果

意見番号	ご意見の概要	該当するページ/条項	件数	ご意見に対する市の考え方	修正等の対応
29	計画のフォローアップは、変化の激しい世の中であるため、5年間のスパンでは長すぎる。実行、中間評価、実行、中間評価、次年度検討、総合評価等の詳細な区切りで評価すべきではないか	91	1	本計画では計画に記載の施策、事業の計画策定後の管理について方針を定めており、具体の進捗管理方法については、今後地域公共交通協議会等の中で計画期間内の年度別に評価、管理を進めていくものと考えます。 ご意見を参考に、進捗管理方法を検討し、施策を進めて参ります。	素案のとおりといたします
30	本文中PCDAサイクルは誤記のため修正すべき	91	1	ご意見の通り、誤表記のため修正いたします。	ご意見を踏まえ、表記を修正いたします
31	区間別混雑率は新型コロナウイルス感染拡大の影響が著しいため、2017～2021の5年間ベースで検討すべきではないか	90	1	新型コロナウイルス感染症拡大については、終息後の推移を見極めた上で、市民の移動、公共交通へのニーズを的確に把握していく必要があると考えます。 ご意見を参考に、今後計画の見直し、施策等のモニタリングの中で成果指標についても適宜見直し、検討いたします。	素案のとおりといたします
32	さいたま市ではないものの、ホームレス襲撃という悲しい事件も起こっているため、バス停の整備の際には、ユニバーサルデザインの観点からも、意図はしなくとも弱者を排除するデザインを採用しない検討をお願いしたい	70	1	本計画では、バス待ち環境等の充実として施策体系を整理しています。 ご意見を参考に計画策定後、検討してまいります。	素案のとおりといたします
33	さいたま市の独自の公共交通施策として、コミュニティバスを拡充することは特に重要と考える。当初目的の区役所への足の確保から脱して、市民の日常生活に役立つ運用を、関係住民の意見を踏まえて行ってほしい	64	1	本計画では、コミュニティバス等の利用促進として施策体系を整理しています。 ご意見につきましては、今後のコミュニティバス等導入ガイドライン改定の際の参考とさせていただきます。	素案のとおりといたします
34	補助金の拡充程度に比して、コミュニティバスは乗客数が伸び悩んでいる一方で、特定の地域のみで運行しているはずの乗合タクシーの乗客数伸び率が高い。地域特性があり、どちらか良いというわけではないが、双方が情報技術で連携して、各地域の拠点にてスムーズな乗り継ぎが可能になるなど、使いやすい環境整備を望む	64	1	本計画では、ICT活用によるMaaS等を含めた交通システムの高度化検討として施策体系を整理しています。 ご意見を参考に計画策定後、検討してまいります。	素案のとおりといたします
35	都心部を環状に巡る小型の電気バス等を整備すれば、都心部への自動車の流入を抑制するとともに都心部の回遊性を高めることができるのではないかと。また個々の都心部での東西を結びつける環状バスだけでなく、大宮都心部～新都心～浦和都心部を結びつけるバスを整備すれば、市民の利便性が高まるのではないかと	-	1	本計画では、第4章において公共交通ネットワークの考え方および役割として整理しています。 ご意見を参考に計画策定後、検討してまいります。	素案のとおりといたします
36	新しく整備する公共交通のあり方は、固定的な軌道を走る鉄道に固執することなく、情報技術を駆使した弾力的なバス交通にシフトし、公共交通維持管理の持続性、利用者の利便性、自然環境の保全等を高めるべきではないかと	67	1	本計画では、第4章において公共交通ネットワークの考え方および役割として整理しています。 ご意見を参考に計画策定後、検討してまいります。	素案のとおりといたします

■ 集計結果

意見提出者数	6名
意見項目数	36件
修正項目数	17件